



常任委員会からのお知らせ



各常任委員会では年間テーマを決め、先進地の視察で行った調査・研究等を参考に提言書として市長に提出しています。今回はその視察内容についてお知らせします。

常任委員会とは？

地方自治法第109条に基づいて設置された委員会です。知立市議会では分野別に4常任委員会(企画文教委員会、市民福祉委員会、建設水道委員会、予算・決算委員会)が設置され、所管する議案や請願などを審査します。

企画文教委員会

年間
テーマ

地域防災力の強化

視察地① 市民参加型防災について(東京都国分寺市)

災害時に市民が主体的に防災に取り組めるように、防災について学ぶ(防災まちづくり学校等)、地域での防災活動(防災推進委員)、防災活動の広がり(防災推進地区、三層の活動体制等)の循環サイクルが整えられている。

視察地② 八潮防災マイスター制度について(埼玉県八潮市)

東日本大震災後にできた制度で、子ども時代から防災について学習し防災意識の高い市民を増やすことを目的としている。国土舘大学と包括協定を結び防災知識や救急救命の重要性を学ぶ制度。



八潮市にて八潮防災マイスター制度の説明を受ける

市民福祉委員会

年間
テーマ

ゼロカーボンシティの実現に向けて

視察地① ゼロカーボンシティについて(長野県飯田市)

ゼロカーボンシティを目指し、市とまちづくり委員会等の地域団体と企業が協働して地域公共再生可能エネルギー活用事業を展開している。また、市民向けパンフレット「21いいだ環境プラン」を作成し、市民が参加しやすい環境にやさしい生活スタイルを提案している。

視察地② 脱炭素社会への取り組み(長野県伊那市)

国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、太陽熱温水システムの設置費の3分の2の補助金を支給し普及を進めている。



飯田市のリンゴ並木のエコハウス

建設水道委員会

年間
テーマ

居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり

視察地① 桜井駅前地区周辺整備・活性化事業(奈良県桜井市)

桜井駅南駅前広場から本町通りまでを一体とした回遊性を目指し、まちなかウォークブル推進事業を活用。また、2020年から4年間駅前マルシェなどの社会実験を実施。

視察地② 姫路市ウォークブル推進計画(兵庫県姫路市)

居心地が良く歩きたくなるまちなか形成の目的をコンセプトに、ハード面において「トランジットモール[※]」の導入や歩行者利便性増進道路制度(通称：ほこみち制度)の指定を実施した。



姫路駅前のトランジットモール

※トランジットモール…自動車の通行を制限し、歩行者と公共交通機関のみが通行できるように整備された街路